

# 朝倉文夫

移管30年記念特別展

# 響子

# 三人展

ASAKURA Fumio Setsu Kyoko Three Artists Exhibition



2016 9/17 (Sat) ~ 12/11 (Sun)

会期中、一部展示替えがございます

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】

月・木曜日(祝日と重なる場合は翌日)

9月13日(火)～16日(金)、12月13日(火)～16日(金)まで展示替えのため休館いたします

台東区立 **朝倉彫塑館**

〒110-0001 台東区谷中7丁目18番10号 TEL:03-3821-4549

主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団

# 初めての父娘三人展



朝倉彫塑館のあるじで、近代日本を代表する彫刻家 朝倉文夫(1883～1964)には、際立った個性を放つふたりの娘がいました。ひとりには日本画から舞台美術へと活動の場を広げた長女の朝倉摂(1922～2014)、もうひとりには、彫刻家としての道を邁進し独自のスタイルを確立した次女の朝倉響子(1925～2016)です。朝倉は、ふたりの娘を独自の家庭教育によって芸術家として育て上げ、後年ふたりの娘はそれぞれ独立した芸術家として活躍します。こうした芸術家を育んだ空間である朝倉彫塑館は、姉妹の教育の場であっただけでなく、三人が共通の時間を過ごした場所でもあります。

本年は、父が丹精込めて作り上げた朝倉彫塑館が、ふたりの娘の手によって台東区に寄贈されて30年を迎えます。この記念すべき年に開催される本展は、その思い出にあふれた空間で三人それぞれの作品をご覧いただくことができる初めての機会となります。

三者三様の表現、父とふたりの娘たちの関係をご紹介しますながら、それぞれの芸術観に迫ります。

ASAKURA Museum of Sculpture was once a studio and residence of ASAKURA Fumio (1883-1964), a leading sculptor of modern Japan. He had two daughters with distinctive personalities. The elder daughter, ASAKURA Setsu (1922-2014), expanded her field of activity from Japanese painting to stage design; the second daughter, ASAKURA Kyoko (1925-2016), chose the path of sculpting and established a unique style of her own. ASAKURA Fumio educated his two daughters at home in his own way, helping them to grow as artists; each later became an independent artist. The ASAKURA Museum of Sculpture, which nurtured these artists, was not only the place where the sisters were educated, but also a place where the father and his daughters spent time together.

This marks the thirtieth year since the two daughters donated the ASAKURA Museum of Sculpture, created by the great efforts of their father, to Taito Ward. This exhibition, held in such a memorable year, is the first opportunity to observe the works of the three artists in a space that is replete with their memories. It explores the artistic views of each of the three, introducing their different modes of expression, and touches on the relationship between the father and his daughters.



(右上) 朝倉文夫《姉妹》1947年 朝倉彫塑館蔵  
 (右下) 朝倉文夫《仔猫の群》1927年 朝倉彫塑館蔵  
 (左上) 朝倉 摂《百合図》制作年不詳 朝倉彫塑館蔵  
 (左下) 朝倉響子《NIKE》1981年 個人蔵  
 画像提供:中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

## 関連イベント

【講演会1】 11月4日(金) 14:00～

「愛すべき人間像を求めて

——朝倉文夫・響子の彫刻」

田中 修二氏(大分大学教育学部教授)

【講演会2】 12月8日(木) 14:00～

「青春の朝倉摂

——昭和前期日本画界での活動と位置」

野地 耕一郎氏(泉屋博古館分館長)

●両日とも

□事前申し込み制(詳細はwebサイトなどをご確認ください)

□会場は朝陽の間(当館3階日本間)です

椅子席のご用意はありません

□参加費 1,000円

□通常非公開の「令嬢室」を講演会当日13:00～13:55まで特別公開します(講演会申込者限定)

【ギャラリートーク】

9月21日(水)、10月19日(水)、11月16日(水)

各日 10:00～/14:00～

学芸員が特別展のみどころを解説します(30分程度)

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】

月・木曜日(祝日と重なる場合は翌日)

9月12日(月)～16日(金)、12月12日(月)～16日(金)まで展示替えのため休館いたします

【入館料】

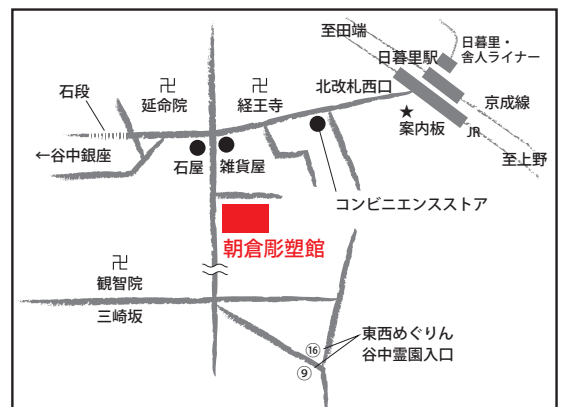
一般500円(300円)／小・中・高校生250円(150円)

※( )内は、20人以上の団体料金です

※障害者手帳提示者、特定疾患医療受給者証提示者およびその介護者は無料です

※毎週土曜日は台東区在住・在学の小中学生とその引率者の入館が無料です

年間パスポート等のお得なサービスを各種ご用意していますので、ぜひご利用ください



【交通のご案内】

JR、京成線、日暮里・舎人ライナー

日暮里駅北改札口を出て西口から徒歩5分

東西めぐりん⑨⑩谷中霊園入口下車徒歩8分

【所在地】

〒110-0001 台東区谷中7丁目18番10号

TEL:03-3821-4549 FAX:03-3821-5225

<http://www.taitocity.net/zaidan/asakura/>

お客様の安全確保および建物保全のため靴下の着用をお願いいたします

## 朝倉彫塑館